

2024年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任			
国語	古典探究 α	3	3年次	坂井 淳			
選択するときの条件	3年次共通履修 (文系で医療倫理を選択しない生徒、理系で数Ⅲ＋数Cまたは医療倫理を選択しない生徒)						
使用教科書	(数研出版) 高等学校 古典探究	使用副教材	(数研出版)「高等学校 古典探究準拠ワーク」 (三省堂)「精選古文単語300PLUS 改訂版」 (第一学習社)「新訂総合国語便覧」				
科目の目標			道徳教育のねらい				
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、将来にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることを目指す。			人間と人間との関係の中で、互いの立場や考え方を尊重し合えるような、道徳的心情や道徳的判断力を養う。				
学習活動内容		育てたい6つの力(資質・能力)					
		1 主体的 学習力	2 基礎力	3 思考・ 分析力	4 発信・ 表現力	5 自己認知 ・協働力	6 計画 実行力
1	【古文】随想を読む	○	◎		○		
2	【古文】日記文学を読む		◎			○	○
3	【古文】物語を読む	○	○	◎			
4	【古文】歴史物語を読む		○	◎			○
5	【古文】説話を読む			○	◎	○	
6	【古文】評論を読む			◎	○	○	
7	【古文】近世随筆を読む	◎				○	○
8	【古文】近世小説を読む	◎		○			○
9	【漢文】逸話を読む	○	◎		○		
10	【漢文】小説を読む		◎		○	○	
11	【漢文】史伝を読む		○	◎		○	
12	【漢文】文章を読む		○	◎			○
13	【漢文】漢詩を読む	◎		○	○		
14							
15							
16							
17							
18							
24							
評価の観点	知識・技能	思考 判断 表現		主体的に学ぶ態度			
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。		言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
評価の方法	次の3観点において、各資料をもとに総合的に評価し、5段階の評定をする。また、各観点については、到達度により総合的に評価し、A・B・Cの3段階で評価する。						
	A: 目標に対する到達度が70%～100%		B: 目標に対する到達度が45%～69%		C: 目標に対する到達度が0%～44%		
	教科・科目における各観点	授業での取組	課題への取組	提出物	考査		
	知識・技能	○	○	◎	◎		
思考・判断・表現	○	○	◎	◎			
主体的に学ぶ態度	○	◎	○	○			

古典探究α 授業計画

授 業 計 画				実施状況			
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省		
前 期	4 (10)	古文・随想『枕草子』 ・二月つごもり頃に／他 (11)	・読解に必要な知識を確認し、読み比べを通して主題を考察する力を養う。	・「二月つごもりごろに」を『古本説話集』と読み比べ、内容を比較考察する。(11)			
	5 (12)	漢文・文章 ・漁父辞／他 (11)	・読解に必要な知識を確認し、文章の構成や主題を考察する力を養う。	・「漁父辞」「桃花源記」「売油翁」を読みそれぞれ構成や主題を考察する。(11)			
	6 (11)	前期中間考査 (1)			1		
	7 (6)	古文・日記文学 ・『紫式部日記』／他 (11)	・読解に必要な知識を確認し、文章を読み比べて違いを考察する力を養う。	・複数の日記文学を読み比べ、構成や文体、内容等の違いを比較考察する。(11)			
	8 (6)	漢文・漢詩 ・石壕吏／他 (6)	・漢詩の読解に必要な知識を確認し、句数の多い詩を読解する力を養う。	・「石壕吏」「飲酒」「長恨歌」等を読み、構成や内容を読み取る。(6)			
	9 (10)	漢文・小説 ・売鬼／他 (6)	・読解に必要な知識を確認し、文章の展開を読み取る力を養う。	・「売鬼」「人面桃花」等を読み、展開を読み取り内容を理解する。(6)			
	9 (10)	前期期末考査 (1)			1		
		古文・歴史物語『大鏡』 ・道真と時平 ・南院の競射 他 (9) ・『古今著聞集』	・知識を駆使して本文を読解し、語り手の意図を考察する力を養う。 ・他の作品での描かれ方と比較する。	・教科書に掲載されている大鏡本文を読み、語り手がそれぞれの人物に対してどのような思いを抱いているか考察する。(9)			
	後 期	10 (12)	古文・物語『源氏物語』 ・車争ひ ・須磨／他 (1 2)	・様々な描写に注目して登場人物の心情の変化を読み取る力を養う。	・教科書に掲載されている源氏物語本文を読み、それぞれの場面での登場人物の心情の変化を読み取る。(12)		
		11 (11)	漢文・史伝『史記』 ・「伯夷・叔齊」 ・「廉頗・藺相如」 ・「荆軻」 (1 0)	・知識を駆使して本文を読解し、語り手の意図を考察する力を養う。	・教科書に掲載されている史記本文を読み、筆者がそれぞれの人物に対してどのような思いを抱いているか考察する。(10)		
		後期中間考査 (1)			1		
12 (9)		古文・評論 ・『無名草子』 ・『近代秀歌』 ・『無名抄』／他 (9)	・知識を駆使して本文を読解し、筆者の主張を読み取る力を養う。	・さまざまな評論を読み、筆者の主張を読み取る。(9)			
	漢文・文章 ・捕蛇者説 ・師説	・知識を駆使して本文を読解し、筆者の主張を読み取る力を養う。	・唐宋八大家の文章を読み、筆者の主張を読み取る。(3)				